

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成24年9月19日

| | | | |
|-----|---------------|-----|--------------|
| 施設名 | 高知県立埋蔵文化財センター | 所管課 | 高知県教育委員会文化財課 |
|-----|---------------|-----|--------------|

1 施設の概要

| | | | |
|--------|---|------|----------------------|
| 指定管理者名 | 高知県文化財団 | 指定期間 | 平成22年4月1日～平成25年3月31日 |
| 施設所在地 | 南国市篠原1437-1 | | |
| 事業内容 | ○施設管理(埋蔵文化財保護の中核施設として最適な施設管理を行う) ○出土文化財等資料管理(出土遺物を適切に保管・管理し県内外からの依頼に応じて貸出等を行う) ○広報普及(発掘調査成果及び出土文化財を広く県民に公開することにより埋蔵文化財に対する保護の推進と普及啓発を図る) | | |
| 施設内容 | ○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 面積:本館(1,038.68㎡) 北館(518.40㎡) 南館(1,045.92㎡) 収蔵庫(1,527.52㎡) 開館時間:午前9時～午後5時まで 休館日:土・日・祝祭日, 12月29日～1月3日 常勤職員: 6名 利用料金:無料 | | |
| 職員体制 | 常勤職員: 6名 | | |

2 収支の状況

単位:千円

| | | 平成22年度(決算) | 平成23年度(決算) | 平成24年度(予算) |
|----------------|---------|------------|------------|------------|
| 収入 | 県支出金 | 66,126 | 64,544 | 34,435 |
| | 使用料・手数料 | | | 0 |
| | その他 | 502 | 562 | 0 |
| | 収入計 (a) | 66,628 | 65,106 | 34,435 |
| 支出 | 事業費 | 3,173 | 2,729 | 3,194 |
| | 管理運営費 | 17,650 | 16,367 | 18,504 |
| | 人件費 | 45,805 | 46,010 | 12,737 |
| | その他 | | | |
| | 支出計 (b) | 66,628 | 65,106 | 34,435 |
| 収支差額 (a) - (b) | | 0 | 0 | 0 |

3 利用状況

| | 平成22年度(実績) | 平成23年度(実績) | 平成24年度(目標) |
|---------------|---|------------|------------|
| ①年間利用者数(単位:人) | 2,816 | 3,058 | 3,200 |
| ②利用者意見等の反映 | ○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 展示公開(遺跡から出土した土器類の展示や展示解説板による説明)や親子考古学教室等での来館者には、備え付け用紙やアンケートで意見や感想を記入していただきニーズの把握に努めた。 | | |
| ③その他特記事項 | 主に小学生を対象として、地域の歴史や考古学への関心を高めるため各学校現場へと出向き出土遺物の実物資料による授業と火起こし等の体験学習を実施し延べ64校2,223名が参加した。(出前考古学教室の実施) ※平成22年度(66校2,571名) 平成21年度(53校1,438校) | | |

4 平成23年度業務評価

| 項目 | 状況説明 |
|---------------|--|
| ①適正な管理運営の確保 | ○協定書、事業計画書の内容に従って概ね適正な管理が行われた。 ○事故発生はなかったが、万が一の時のために救命講習や消防訓練等を実施し利用者の安全確保に努めた。 |
| ②利用者サービスの維持向上 | ○事業案内を年間行事カレンダーの作成やホームページによる情報発信とともに行事案内を過去の参加者に送付し利用者数の確保に努めた。 ○開催要望に応じて、出前考古学教室や一部の公開講座等について回数を増やし対応した。 ○センター内で企画調整会議や情報交換会議を開催し職員間の情報共有や知識研鑽に努め、利用者に対して十分な説明ができるように努めた。 |
| ③利用実績 | ○出前考古学教室等で積極的に館外に出向いたことが入館者数の増加につながった。 ○今後、講座の充実と併せ、一層、広報に力を入れて行くことが重要である。 |
| ④収支の状況 | ○収入は県からの委託料のみであり、経費の節減に努めつつ適正な支出が行なわれている。 |
| 総合評価 | ○入館者数は、開館以来初の3,000人を超え指定管理者制度導入は埋蔵文化財センターの知名度アップと考古学への関心の高まりにつながったと考えられる。また、引き続き、出前考古学講座は好評である。利用者サービスや施設管理については概ね適正にできている。 B |

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの